

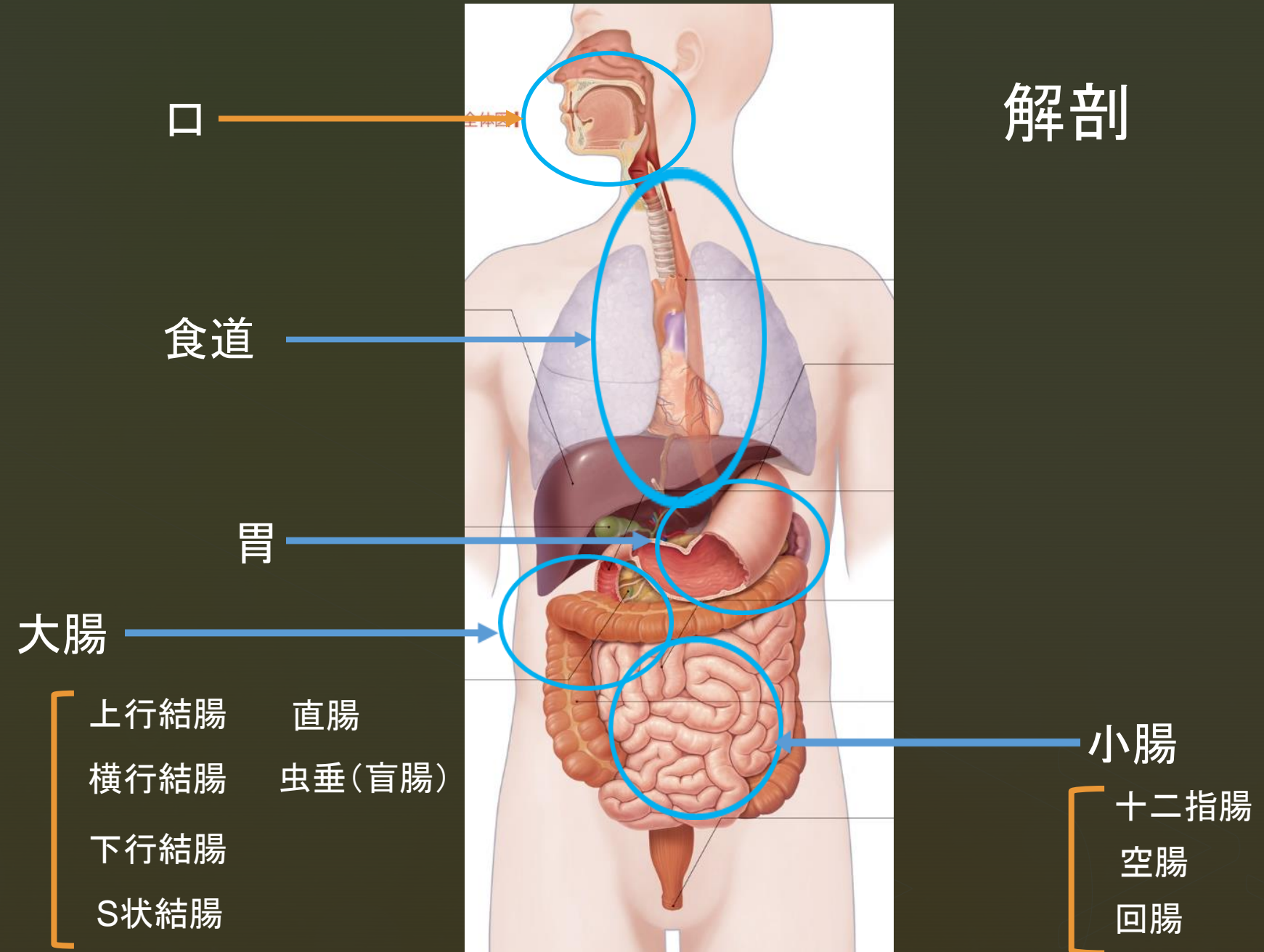
スキルアップフェス

～看護師国家試験対策：消化器編～

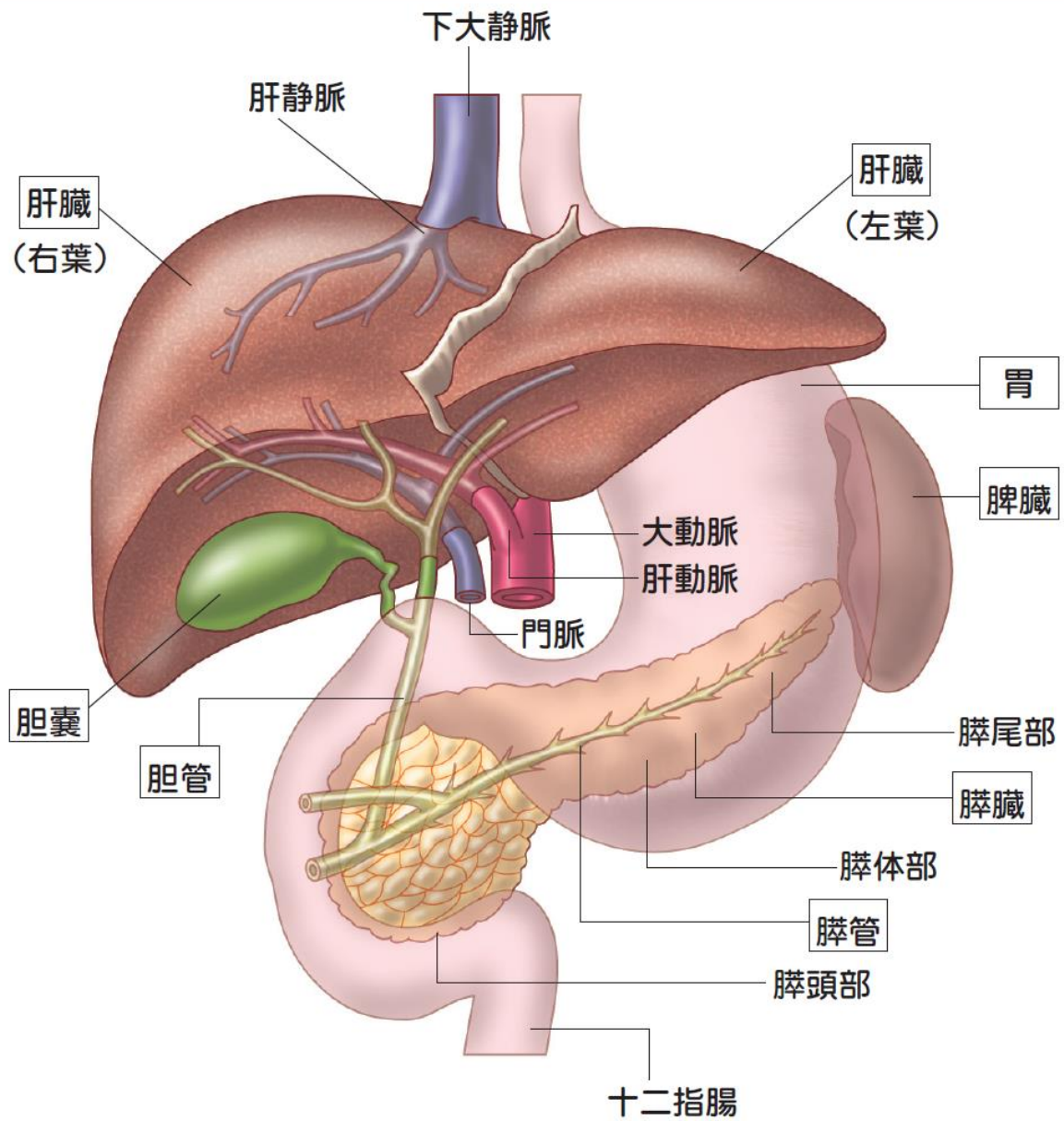
第9回

ポリナビワークショップin  
群馬

# 解剖

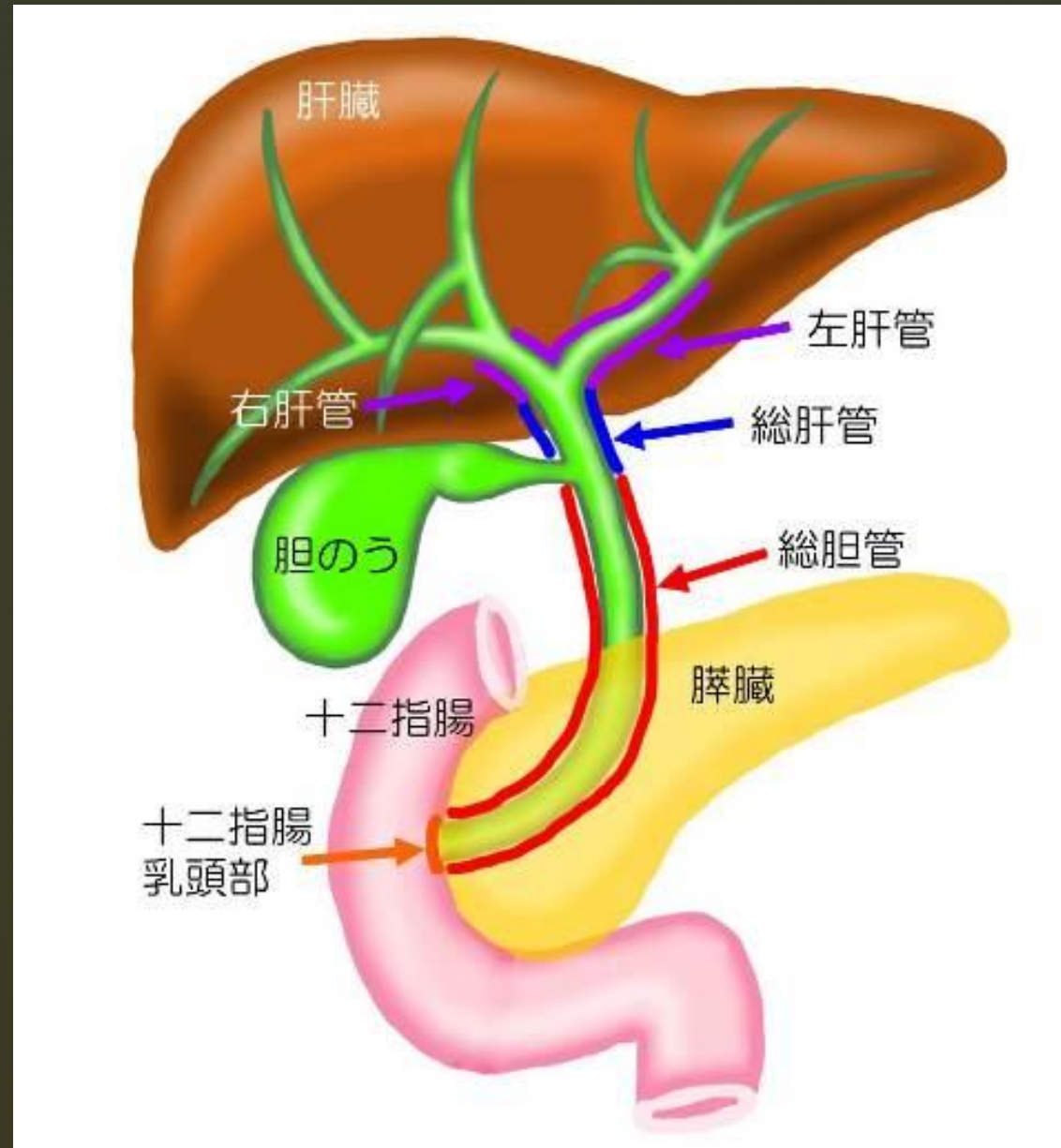


# 肝臟·胆道·胰臟

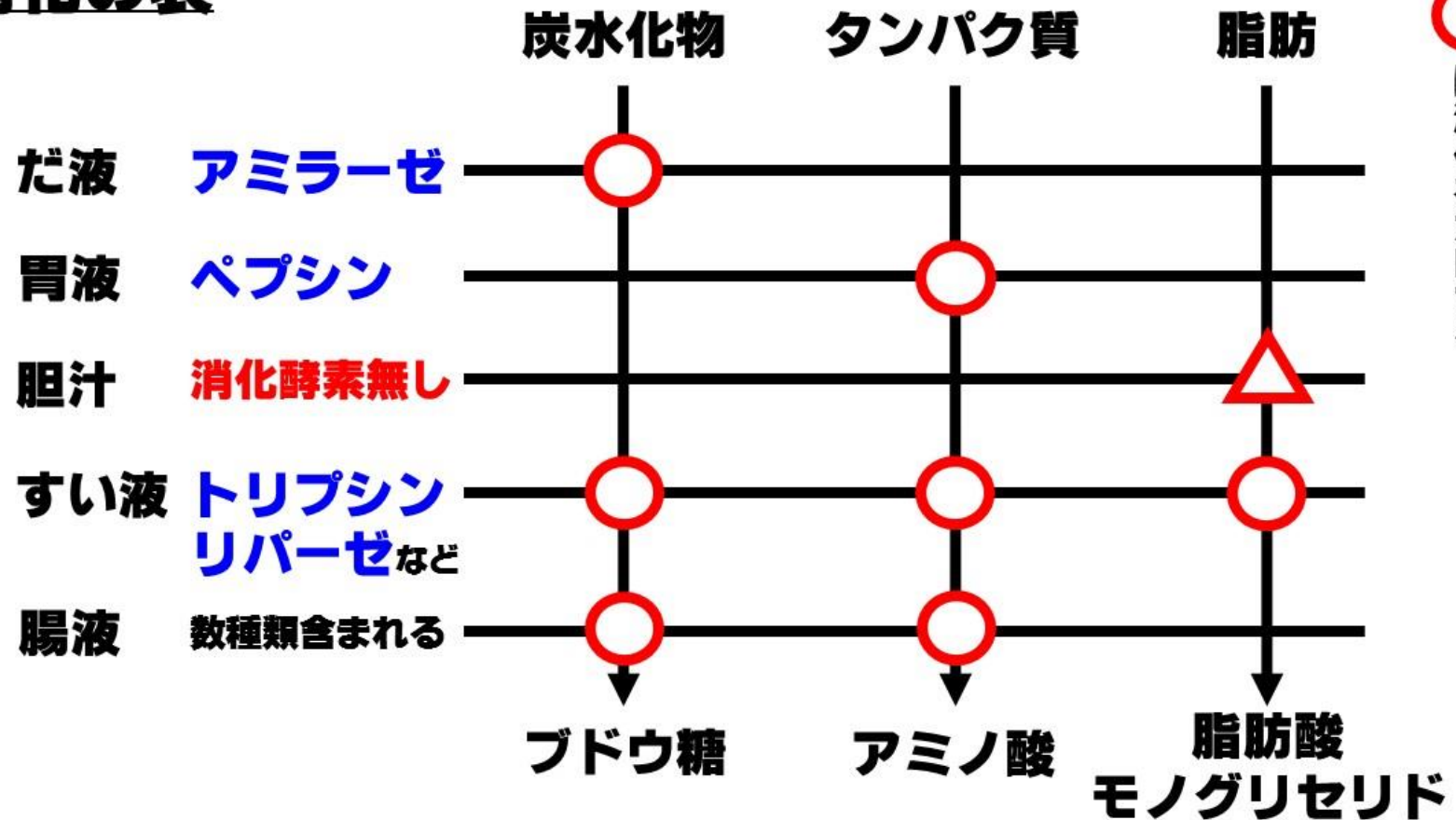


# 解剖

# 解剖



消化の表



○ は消化を意味する  
△ は脂肪の消化を助けるはたらきを意味する

## 第103回(必修)

頻回の嘔吐で起こりやすいのはどれか。

1. 脱水
2. 貧血
3. 発熱
4. 血尿

## 第103回(必修)

頻回の嘔吐で起こりやすいのはどれか。

1. 脱水
2. 貧血
3. 発熱
4. 血尿

## 第100回(必修)

頻回の嘔吐で起こりやすいのはどれか。

1. 脱水
2. 貧血
3. アシドーシス
4. 低カリウム血症



## 第100回(必修)

頻回の嘔吐で起こりやすいのはどれか。

1. 脱水
2. 貧血
3. アシドーシス
4. 低カリウム血症



HCl

HCl

HCl

HCl

## 第107回(必修)

頻回の嘔吐で生じやすいのはどれか。

1. 血 尿
2. 低体温
3. 体重増加
4. アルカローシス

## 第107回(必修)

頻回の嘔吐で生じやすいのはどれか。

1. 血尿
2. 低体温
3. 体重増加
4. アルカローシス

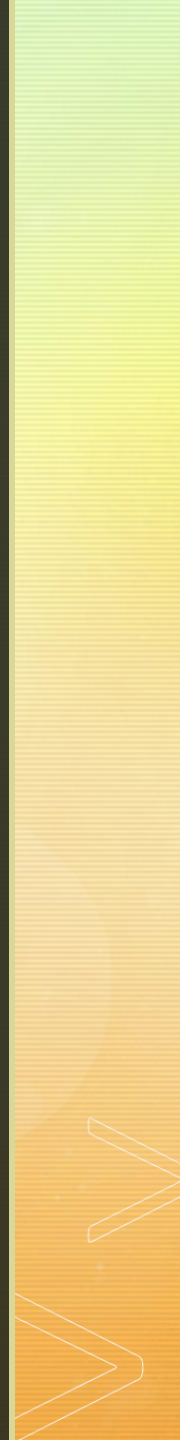


HCl

HCl

HCl

HCl



## 第94回（必修）

臥床患者の嘔吐直後の対応で適切なのはどれか。

1. 側臥位にする。
2. 胸部を叩打する。
3. 下肢を挙上する。
4. 腹部をマッサージする。

## 第94回（必修）

臥床患者の嘔吐直後の対応で適切なのはどれか。

1. **側臥位にする。**
2. 胸部を叩打する。
3. 下肢を挙上する。
4. 腹部をマッサージする。

## 第102回(必修)

血中濃度が上昇すると黄疸となるのはどれか。

1. グルコース
2. ビリルビン
3. クレアチニン
4. 総コレステロール



## 第102回(必修)

血中濃度が上昇すると**黄疸**となるのはどれか。

1. グルコース
2. ビリルビン
3. クレアチニン
4. 総コレステロール

## 第102回(必修)

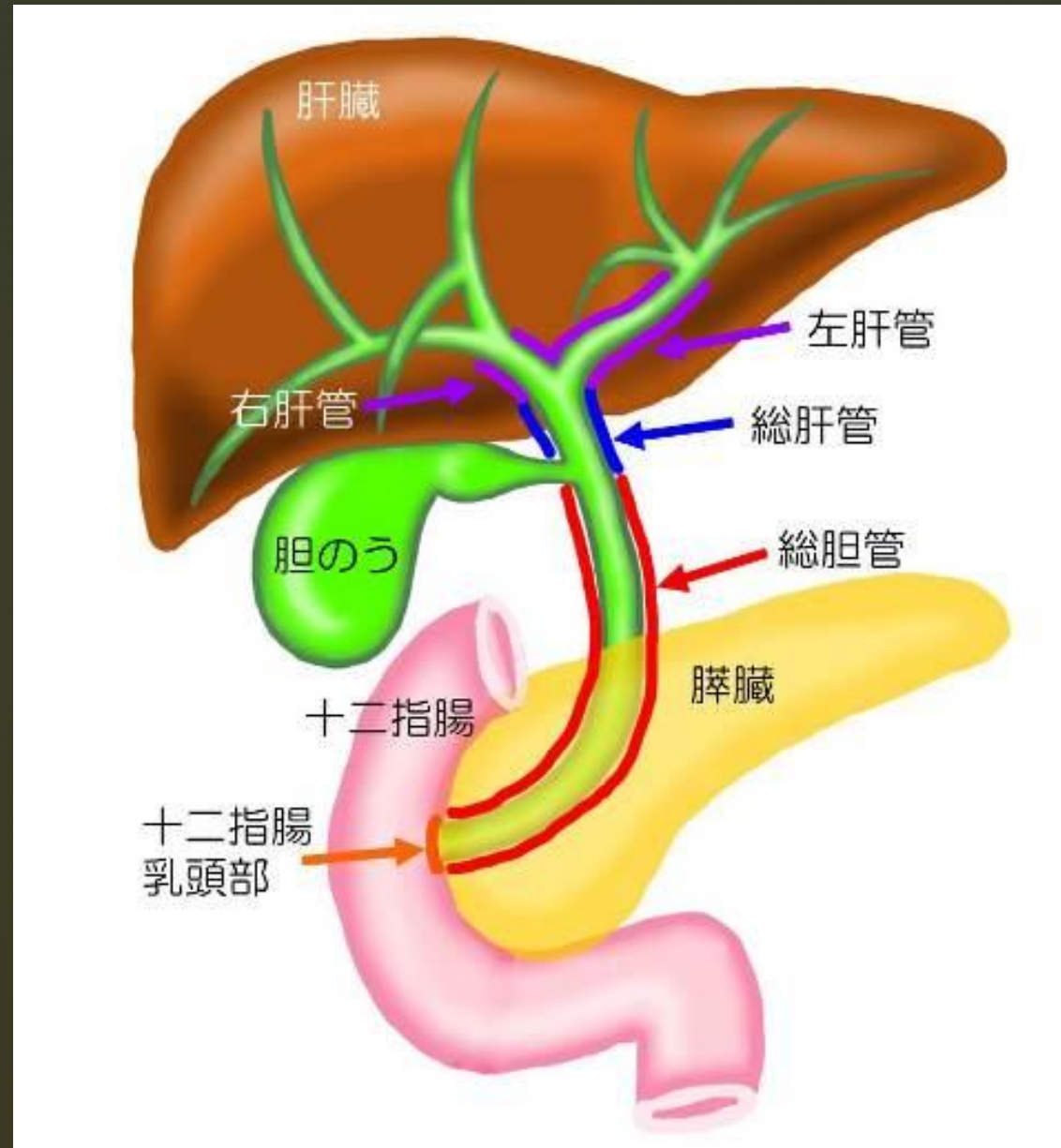
血中濃度が上昇すると黄疸となるのはどれか。

1. グルコース
2. **ビリルビン**
3. クレアチニン
4. 総コレステロール

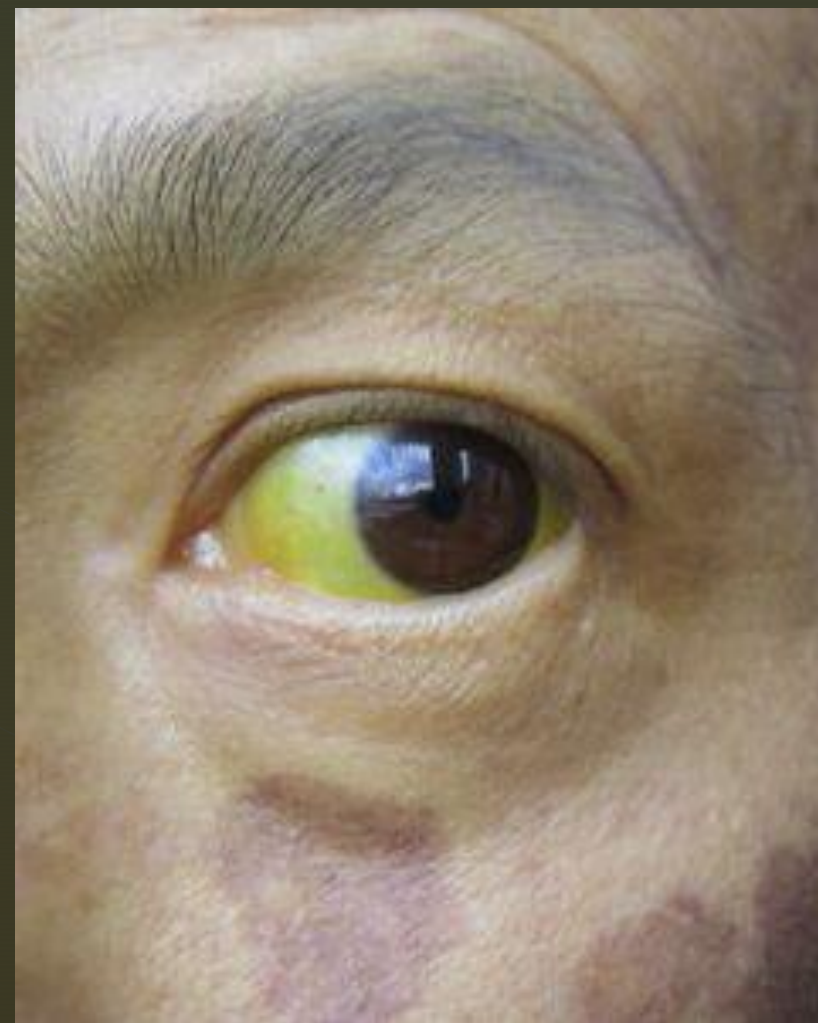
# 黄疸

- 血中の**直接ビリルビン濃度**が上昇すると生じる。
- 胆石症や膵臓がんなどで**胆汁の流れが悪くなる**と、肝臓でつくられた胆汁は小腸へ流れることができなくなり血液中に直接ビリルビンが溶け出す。
- 最初期には眼球（白目）が黄色くなり、徐々に皮膚も黄色くなる。

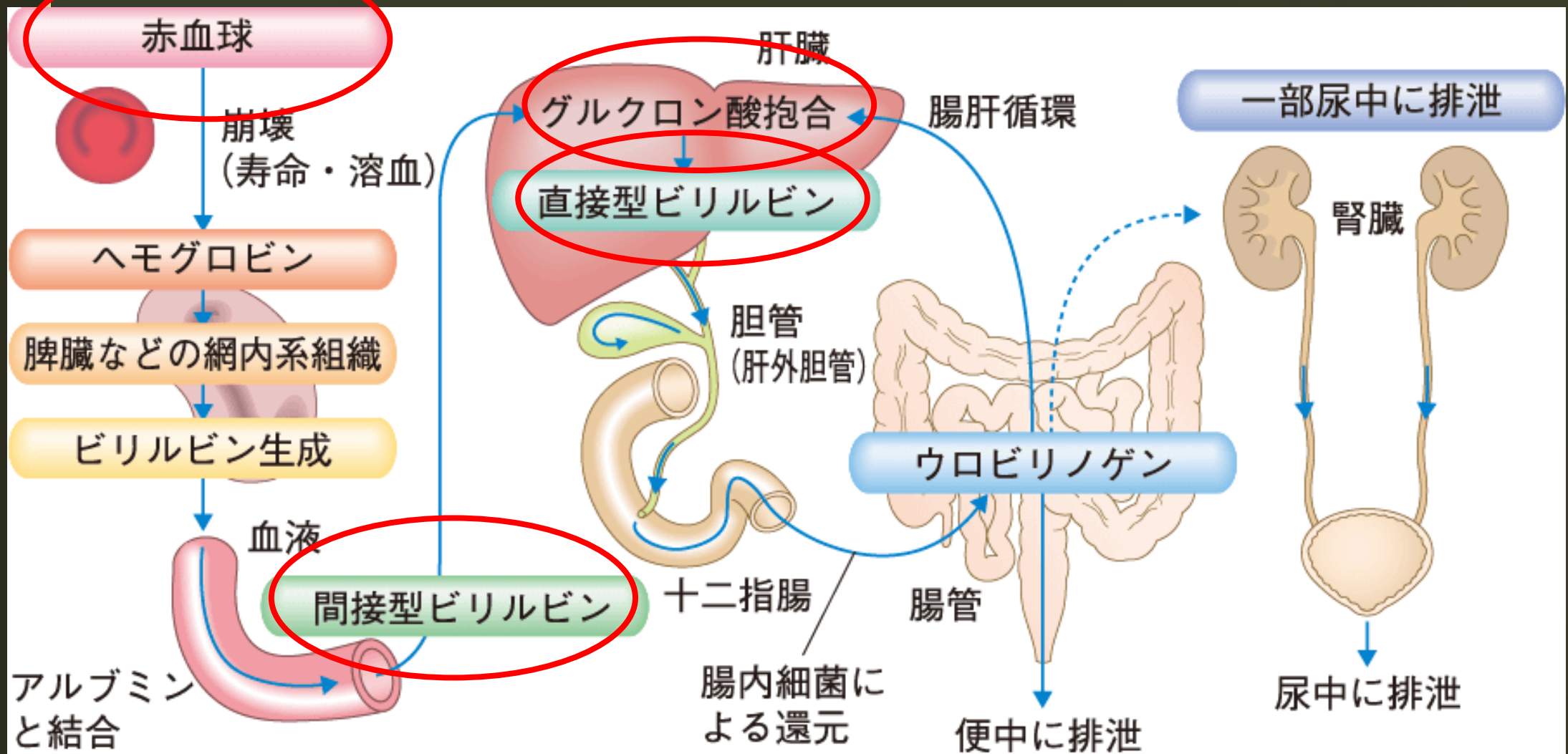
# 解剖



# 黄疸



# 黄疸



赤血球

崩壊  
(寿命・溶血)

ヘモグロビン

脾臓などの網内系組織

ビリルビン生成

血液

アルブミン  
と結合

間接型ビリルビン

肝臓

グルクロン酸抱合

直接型ビリルビン

腸肝循環

胆管  
(肝外胆管)

十二指腸

腸内細菌による還元

腸管

便中に排泄

ウロビリノゲン

一部尿中に排泄

腎臓

尿中に排泄

# 黄疸

間接ビリルビンは脂溶性。グルクロン酸抱合を受けていない。

**直接ビリルビン**はグルクロン酸抱合を受けて**水溶性**。血中にもじゃんじゃん溶け出す。

血中総ビリルビンが2.0mg/dLを越えると黄疸になる。

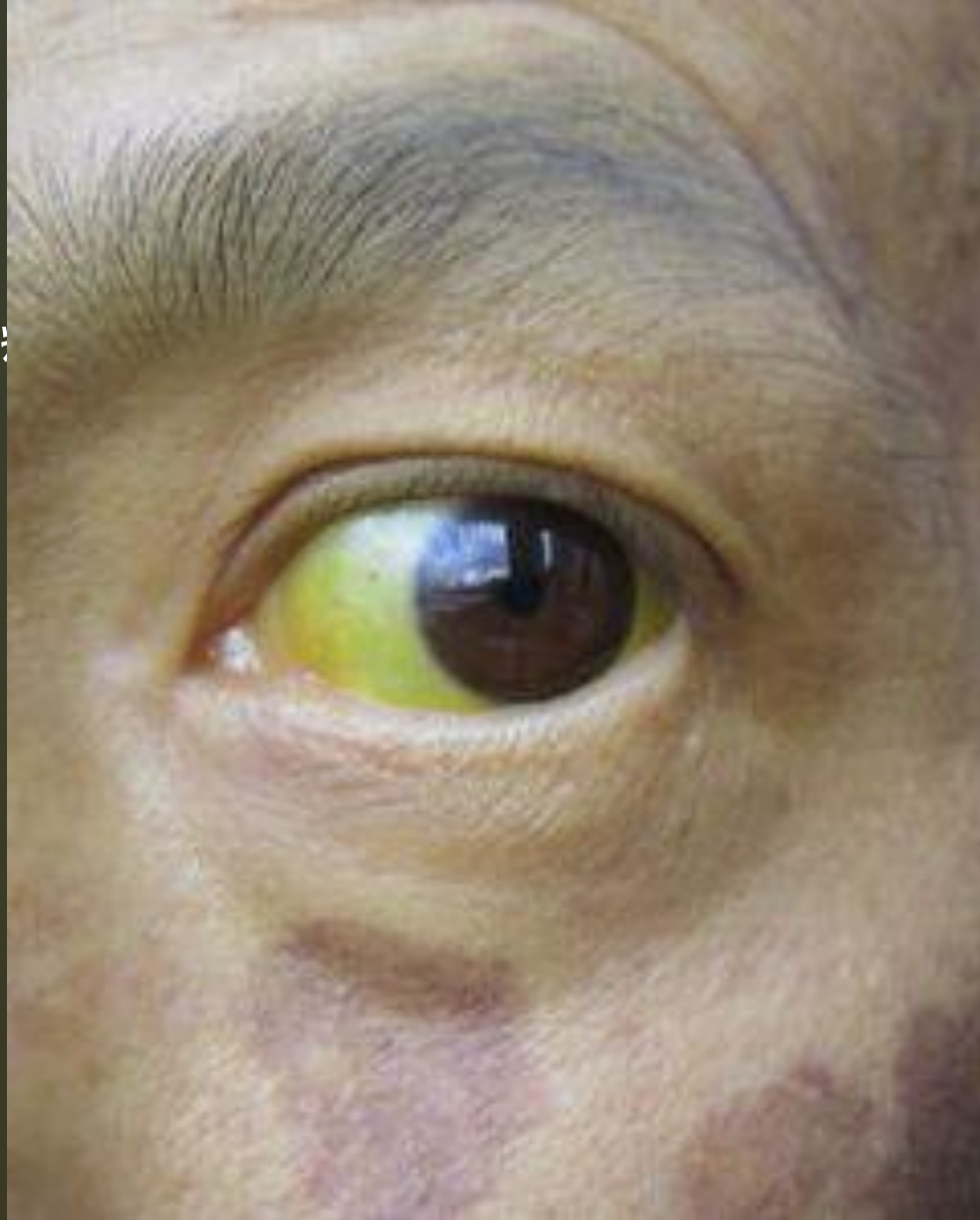
## 第103回(必修)

黄疸で黄染を確認しやすい部位はどれか。

1. 歯
2. 毛髪
3. 爪床
4. 眼球結膜



第103回(必修)



黄

## 第103回(必修)

黄疸で黄染を確認しやすい部位はどれか。

1. 歯
2. 毛髪
3. 爪床
4. **眼球結膜**

## 第100回(必修)

黄疸を最も確認しやすいのはどれか。

1. 爪床
2. 毛髪
3. 耳たぶ
4. 眼球結膜

## 第100回(必修)

黄疸を最も確認しやすいのはどれか。

1. 爪床
2. 毛髪
3. 耳たぶ
4. **眼球結膜**

## 第95回(必修)

黄疸を最も認めやすい部位はどれか。

1. 眼球結膜
2. 爪 床
3. 口 唇
4. 耳 朶

## 第95回(必修)

黄疸を最も認めやすい部位はどれか。

1. 眼球結膜

2. 爪床

3. 口唇

4. 耳朶

## 第94回(必修)

黄疸のある患者に起こりやすい症状はどれか。

1. 色覚異常
2. 搔痒感
3. 関節痛
4. 脱毛

## 第94回(必修)

黄疸のある患者に起こりやすい症状はどれか。

1. 色覚異常
2. 掻痒感
3. 関節痛
4. 脱毛

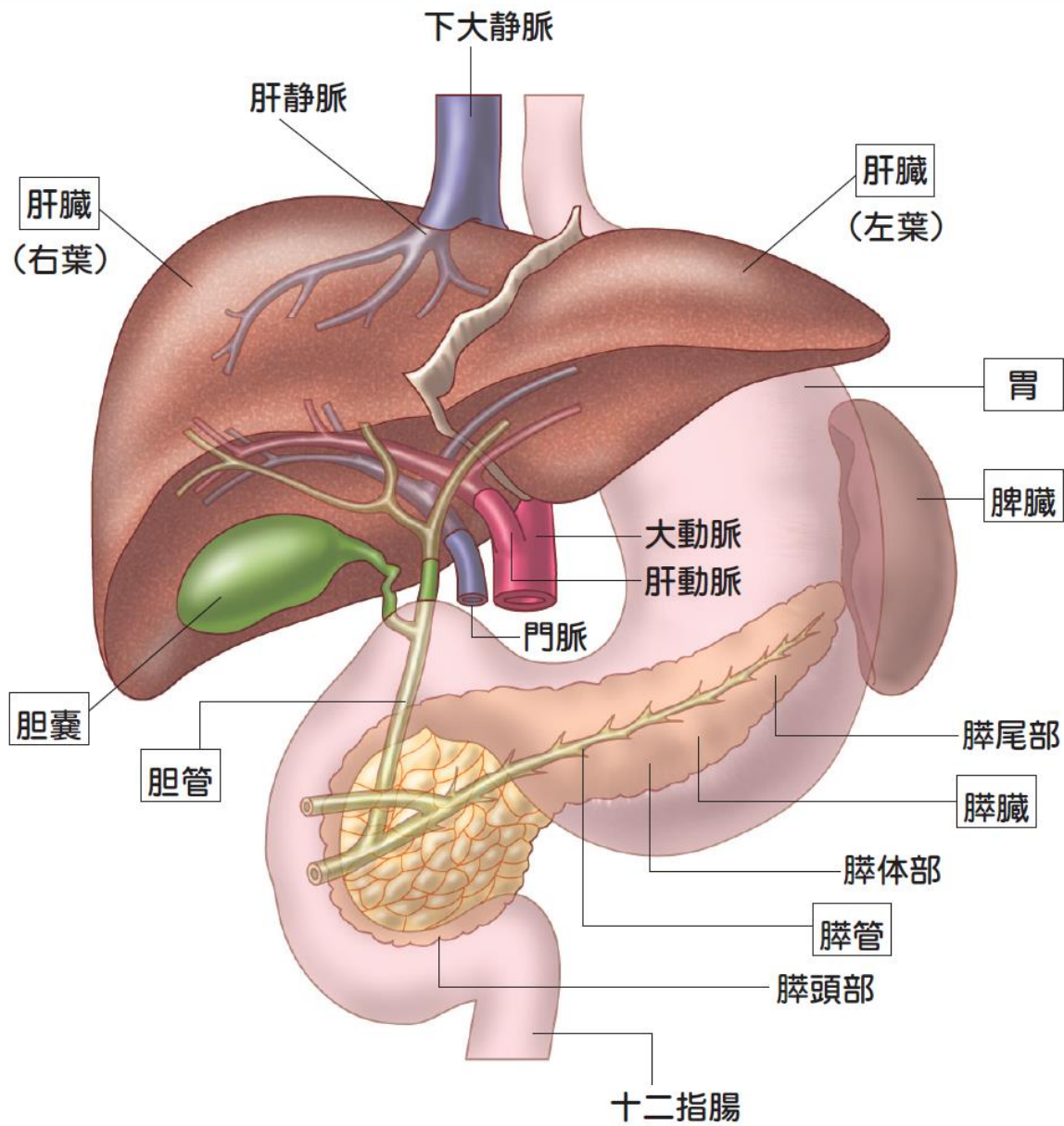


## 第89回(一般)

黄疸が認められやすい疾患はどれか。2つ選べ。

- a. 膵頭部癌
- b. 慢性肝炎
- c. 脂肪肝
- d. 肝硬変

# 肝臟·胆道·胰臟



# 解剖

## 第89回(一般)

黄疸が認められやすい疾患はどれか。2つ選べ。

- a. 膵頭部癌
- b. 慢性肝炎
- c. 脂肪肝
- d. 肝硬変

## 第88回(一般)

閉塞性黄疸の患者にみられないのはどれか。


1. 手掌紅斑
2. 灰白色便
3. 直接型ビリルビン値の上昇
4. 皮膚掻痒感

# 黄疸

- 血中の**直接ビリルビン濃度**が上昇すると生じる。
- 胆石症や膵臓がんなどで**胆汁の流れが悪くなる**と、肝臓でつくられた胆汁は小腸へ流れることができなくなり血液中に直接ビリルビンが溶け出す。
- 最初期には眼球（白目）が黄色くなり、徐々に皮膚も黄色くなる。

## 第88回(一般)

閉塞性黄疸の患者にみられないのはどれか。

1. 手掌紅斑
2. 灰白色便
-  3. 直接型ビリルビン値の上昇
4. 皮膚掻痒感



## 第94回(必修)

黄疸のある患者に起こりやすい症状はどれか。

1. 色覚異常
2. 掻痒感
3. 関節痛
4. 脱毛

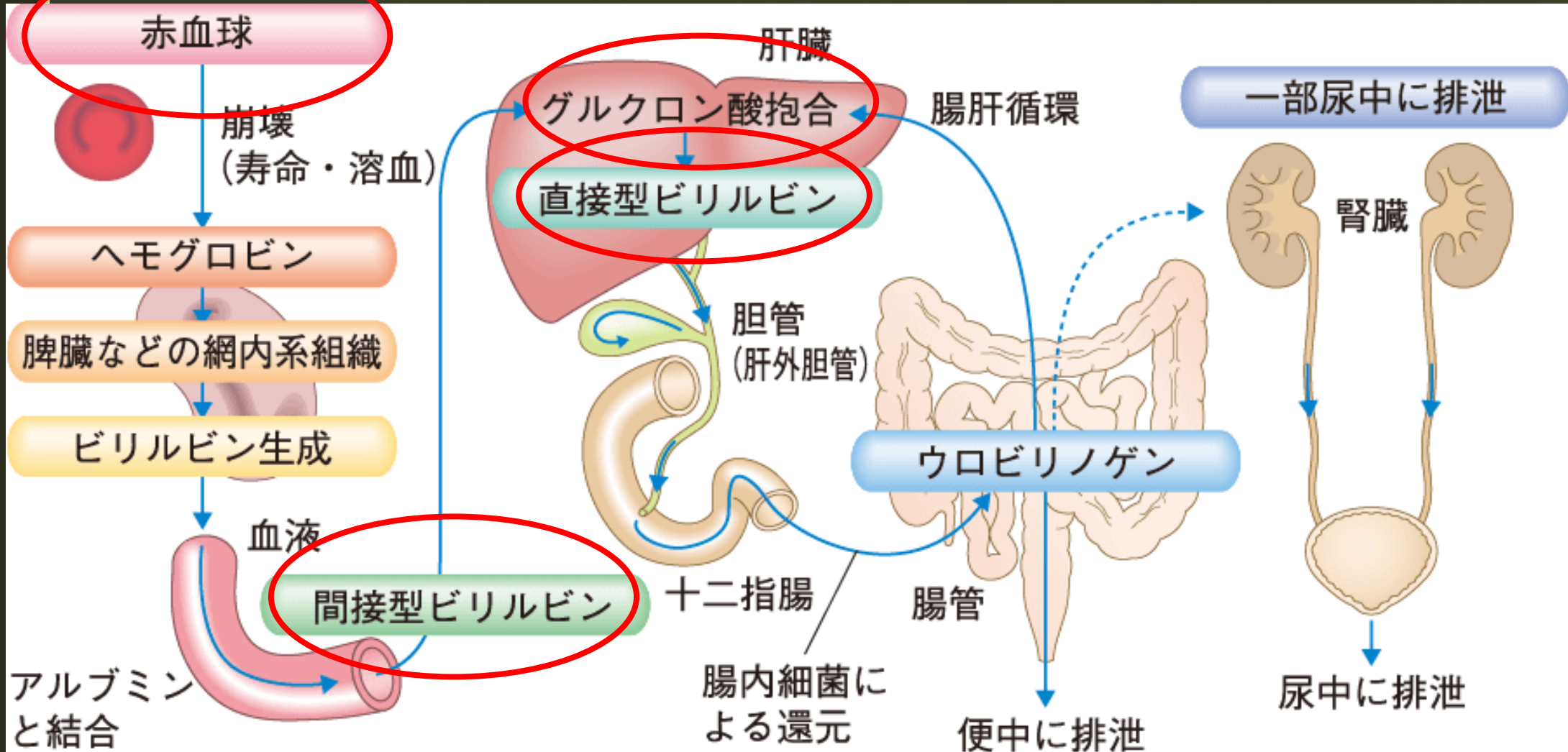
## 第88回(一般)

閉塞性黄疸の患者にみられないのはどれか。

1. 手掌紅斑
2. 灰白色便
-  3. 直接型ビリルビン値の上昇
-  4. 皮膚掻痒感



# 黄疸



# 黄疸

うんちの色に注意しましょう  
明るいところでカードの色と  
見比べてください。

1番～3番  
に近い色だと思  
う

4番～7番  
だったのが  
1番～3番  
に近くなった

どちらかが当てはまるときは、**胆道閉鎖症**  
などの病気の可能性がありますので、1日  
も早く小児科医、小児外科医等の診察  
を受けてください。

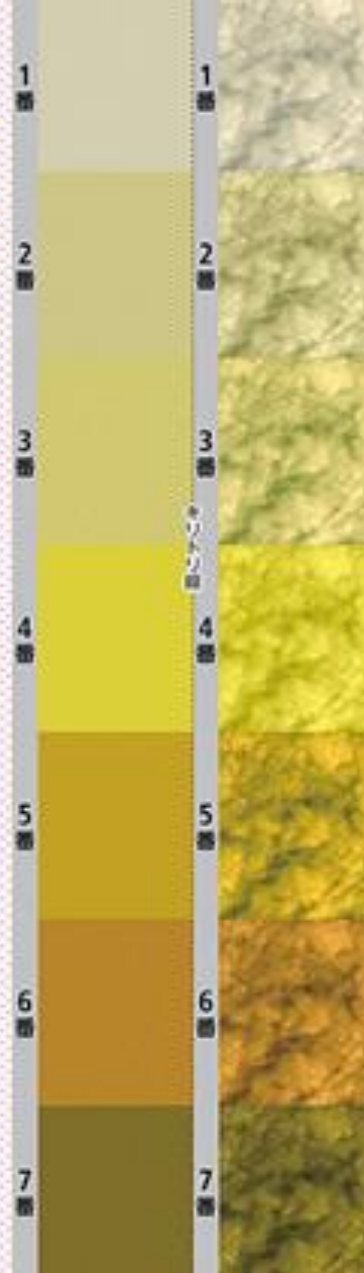
便色の記入欄 (観察日と右欄に当てはまる色番号)

生後2週			
年	月	日	番

生後1か月			
年	月	日	番

生後1～4か月			
年	月	日	番

生後4か月くらいまでは、うんちの色に注  
意が必要です。生後2週を過ぎても皮膚や  
白目(しろめ)が黄色い場合、おしっこが  
濃い黄色の場合にも、すぐに医師等に相談  
しましょう。



## 第88回(一般)

閉塞性黄疸の患者にみられないのはどれか。

- 1. 手掌紅斑
- 2. 灰白色便
- 3. 直接型ビリルビン値の上昇
- 4. 皮膚搔痒感

# 手掌紅斑とは

- 慢性肝炎や肝硬変に合併する症状。
- 母指球、小指球や指の基節部など手掌全体に広がる赤い斑点。
- 圧迫すると消失し、圧迫を解除するとまた出現する。
- 肝機能の低下に伴いエストロゲンの分解が抑制されると血中エストロゲン濃度が上昇して毛細血管の拡張が促進、手のひらが赤くなる。

# 手掌紅斑とは



症状。

- 肝機能の低下に伴いエ  
ロゲン濃度が上昇して毛



## 第90回（一般）

正しい組合せはどれか。

1. <黄疸の原因>ビリルビンの過剰生成－<増加するビリルビンの種類>直接ビリルビン－<疾病>新生児黄疸
2. <黄疸の原因>ビリルビンの抱合異常－<増加するビリルビンの種類>間接ビリルビン－<疾病>溶血性黄疸
3. <黄疸の原因>肝内胆管の障害－<増加するビリルビンの種類>直接ビリルビン－<疾病>原発性胆汁性肝硬変
4. <黄疸の原因>肝外胆管の閉塞－<増加するビリルビンの種類>間接ビリルビン－<疾病>胆管癌

## 第90回(一般)

正しい組合せはどれか。

1. <黄疸の原因>ビリルビンの過剰生成ー <増加するビリルビンの種類>直接ビリルビンー <疾病>新生児黄疸

- 新生児はしばしば黄疸になる

- 肝臓の機能が未熟

- 上手にグルクロン酸抱合ができない

- ビリルビンの抱合異常**が原因

- 増加するのは**間接ビリルビン**

- 黄疸

## 第90回(一般)

正しい組合せはどれか。

2. <黄疸の原因>ビリルビンの抱合異常 - <増加するビリルビンの種類>間接ビリルビン - <疾病>溶血性黄疸

溶血性黄疸の溶血とは、赤血球の破壊亢進のこと

→**ビリルビンの過剰生成**が原因

→グルクロン酸抱合が追い付かない

→間接ビリルビンが増加する

→血中に(少し)溶け出す

→黄疸



## 第90回(一般)

正しい組合せはどれか。

3. <黄疸の原因>肝内胆管の障害 — <増加するビリルビンの種類>直接ビリルビン — <疾病>原発性胆汁性肝硬変

原発性胆汁性肝硬変は肝臓内の細い胆管が破壊される疾患

→つくられた胆汁が流れない

→水溶性の直接ビリルビンが血中に溶け出す

→黄疸

## 第90回(一般)

正しい組合せはどれか。

4. <黄疸の原因>肝外胆管の閉塞 — <増加するビリルビンの種類>間接ビリルビン — <疾病>胆管癌

胆管に癌ができると癌が胆汁の流れを阻害する

→胆汁が流れなくなる

→水溶性の**直接ビリルビン**が血中に溶け出す

→黄疸

## 第90回(一般)

正しい組合せはどれか。

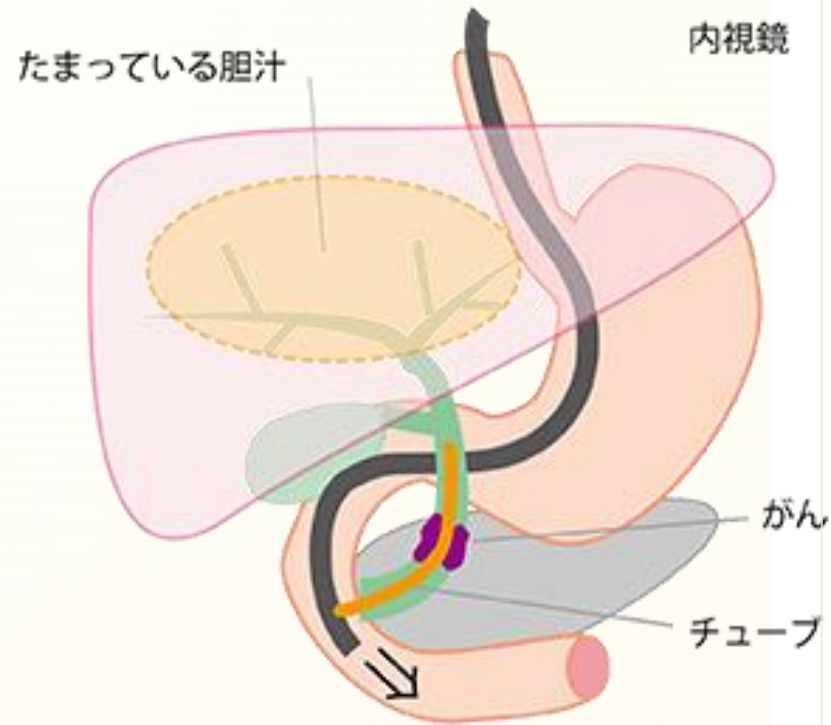
1. <黄疸の原因> **ビリルビンの抱合異常** — <増加するビリルビンの種類> **間接ビリルビン**  
— <疾病> 新生児黄疸
2. <黄疸の原因> **ビリルビンの過剰生成** — <増加するビリルビンの種類> **間接ビリルビン**  
— <疾病> 溶血性黄疸
3. <黄疸の原因> **肝内胆管の障害** — <増加するビリルビンの種類> **直接ビリルビン** — <疾病> **原発性胆汁性肝硬変**
4. <黄疸の原因> **肝外胆管の閉塞** — <増加するビリルビンの種類> **直接ビリルビン** — <疾病> **胆管癌**

# 黄疸の治療

- 黄疸の原因として多いのは総胆管結石(胆石症)。次いで胆管がんや膵頭部がん。
- 治療の第一選択で多いのは内科的に胃カメラを十二指腸まで挿入する治療(内視鏡的胆道ドレナージ:ERBD、内視鏡的乳頭切開術:EST)。

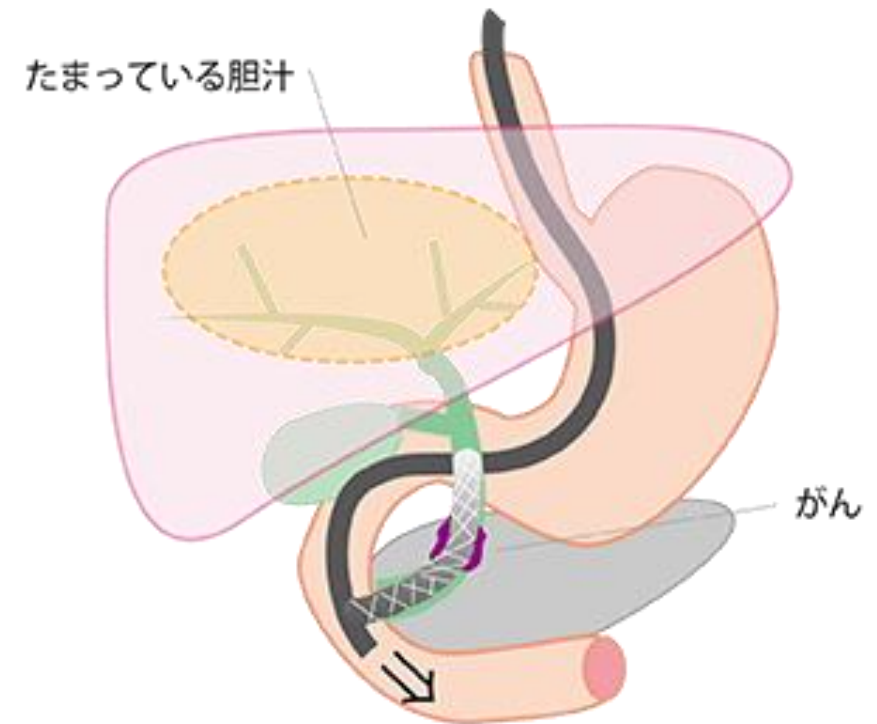
## 黄疸の治療

### 内視鏡的逆行性胆道ドレナージ (ERBD)



内視鏡からチューブを出し、  
胆管内に挿入し、腸へ胆汁を流す

### 胆道ステント



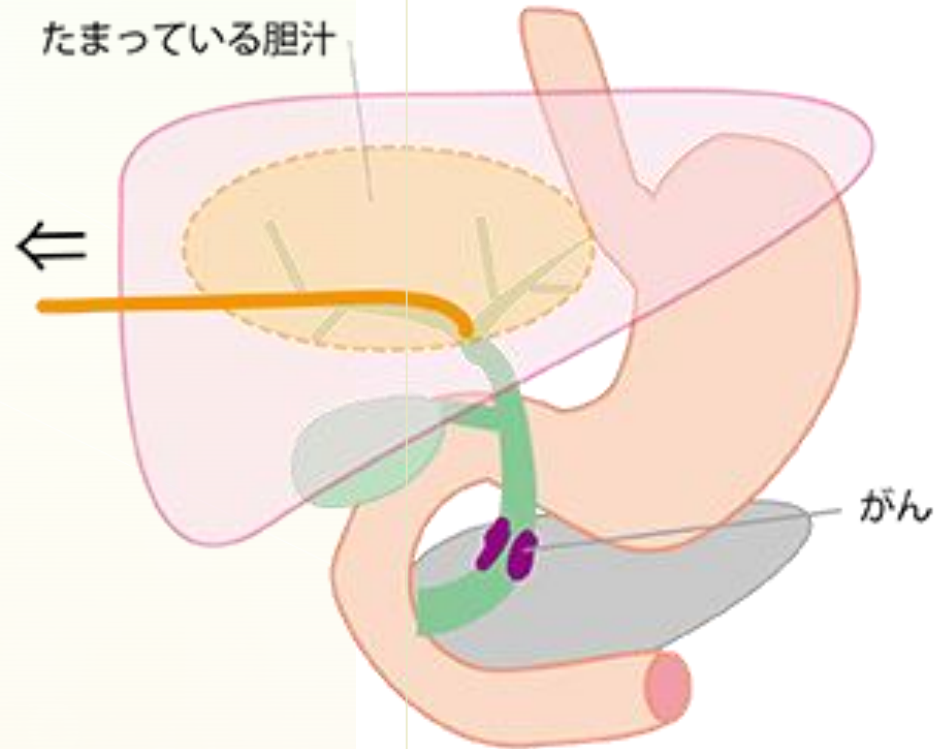
がんで狭まった胆管にステントを挿入し、胆汁を腸へ排出

# 黄疸の治療

- 黄疸の原因として多いのは総胆管結石(胆石症)。次いで胆管がんや膵頭部がん。
- 治療の第一選択で多いのは内科的に胃カメラを十二指腸まで挿入する治療(内視鏡的胆道ドレナージ:ERBD、内視鏡的乳頭切開術:EST)。
- 次いで外科的に経皮的経肝胆道ドレナージ(PTCD)や経皮的経肝胆嚢ドレナージ(PTGBD)。

## 黄疸の治療

経皮経肝胆道ドレナージ (PTBD)



がんより上流の胆管でたまっている胆汁を腹部の皮膚からチューブを通して体外へ胆汁は排出

## 第86回（一般）

経皮経肝胆管ドレナージ中の患者の看護で適切でないのはどれか。

1. ドレーン挿入部は清潔に取り扱う。
2. 排液量の減少はチューブ脱落を考える。
3. ドレナージの効果は間接ビリルビン値で判断する。
4. 発熱の持続は胆管炎を考える。



## 第86回(一般)

経皮経肝胆管ドレナージ中の患者の看護で適切でないのはどれか。

1. ドレーン挿入部は清潔に取り扱う。  
→清潔に取り扱ってください。
2. 排液量の減少はチューブ脱落を考える。
3. ドレナージの効果は間接ビリルビン値で判断する。
4. 発熱の持続は胆管炎を考える。

## 第86回（一般）

経皮経肝胆管ドレナージ中の患者の看護で適切でないのはどれか。

1. ドレーン挿入部は清潔に取り扱う。  
→清潔に取り扱ってください。
2. 排液量の減少はチューブ脱落を考える。
3. ドレナージの効果は間接ビリルビン値で判断する。
4. 発熱の持続は胆管炎を考える。  
→胆管炎、またはカテーテル感染かも・・・

## 第86回(一般)

経皮経肝胆管ドレナージ中の患者の看護で適切でないのはどれか。

1. ドレーン挿入部は清潔に取り扱う。

→清潔に取り扱ってください。

2. 排液量の減少はチューブ脱落を考える。

→胆汁は通常1日に500～1000mL。それよりも少ないと脱落か、詰まったか、カテ先の位置不良か…と考える？

3. ドレナージの効果は間接ビリルビン値で判断する。

4. 発熱の持続は胆管炎を考える。

→胆管炎、またはカテーテル感染かも…

## 第86回(一般)

経皮経肝胆管ドレナージ中の患者の看護で適切でないのはどれか。

1. ドレーン挿入部は清潔に取り扱う。
2. 排液量の減少はチューブ脱落を考える。
3. ドレナージの効果は間接ビリルビン値で判断する。

→胆汁に含まれるのは**直接ビリルビン**。ドレナージ不良だと直接ビリルビンが血中に溶け出して高値になる。ドレナージが良好なら胆汁は詰まることがなく血中の直接ビリルビン値は上がらないはず。

4. 発熱の持続は胆管炎を考える。

## 第93回（一般）

経皮経肝胆道ドレナージ(PTCD)の管理で適切なのはどれか。

1. 排液は1,000mℓ/日以上を維持する。
2. チューブ挿入中は安静臥床にする。
3. 排液バッグは肝臓と同じ高さに保つ。
4. 流出不良時はミルクングを試みる。

## 第93回(一般)

経皮経肝胆道ドレナージ(PTCD)の管理で適切なのはどれか。

1. 排液は1,000mℓ/日以上を維持する。  
→胆汁は通常1日に500～1000mL。
2. チューブ挿入中は安静臥床にする。
3. 排液バッグは肝臓と同じ高さに保つ。
4. 流出不良時はミルクキングを試みる。

## 第93回(一般)

経皮経肝胆道ドレナージ(PTCD)の管理で適切なのはどれか。

1. 排液は1,000mℓ/日以上を維持する。  
→胆汁は通常1日に500～1000mL。
2. チューブ挿入中は安静臥床にする。
3. 排液バッグは肝臓と同じ高さに保つ。  
→肝臓より低くする。
4. 流出不良時はミルクキングを試みる。

## 第93回(一般)

経皮経肝胆道ドレナージ(PTCD)の管理で適切なのはどれか。

1. 排液は1,000mℓ/日以上を維持する。  
→胆汁は通常1日に500～1000mL。
2. チューブ挿入中は安静臥床にする。  
→極端な活動制限はない。
3. 排液バッグは肝臓と同じ高さに保つ。  
→肝臓より低くする。
4. 流出不良時はミルクキングを試みる。



## 第93回（一般）

経皮経肝胆道ドレナージ(PTCD)の管理で適切なのはどれか。

1. 排液は1,000mℓ/日以上を維持する。
2. チューブ挿入中は安静臥床にする。
3. 排液バッグは肝臓と同じ高さに保つ。
4. 流出不良時はミルキングを試みる。

→胆汁は粘稠であるため、流れが悪い時は時々ミルキングする。

## 第98回(必修)

胆汁が混入していることを示す吐物の色はどれか。

1. 白
2. 黒
3. 赤
4. 緑

## 第98回(必修)

胆汁が混入していることを示す吐物の色はどれか。

1. 白
2. 黒
3. 赤
4. 緑

胆汁 (必修)



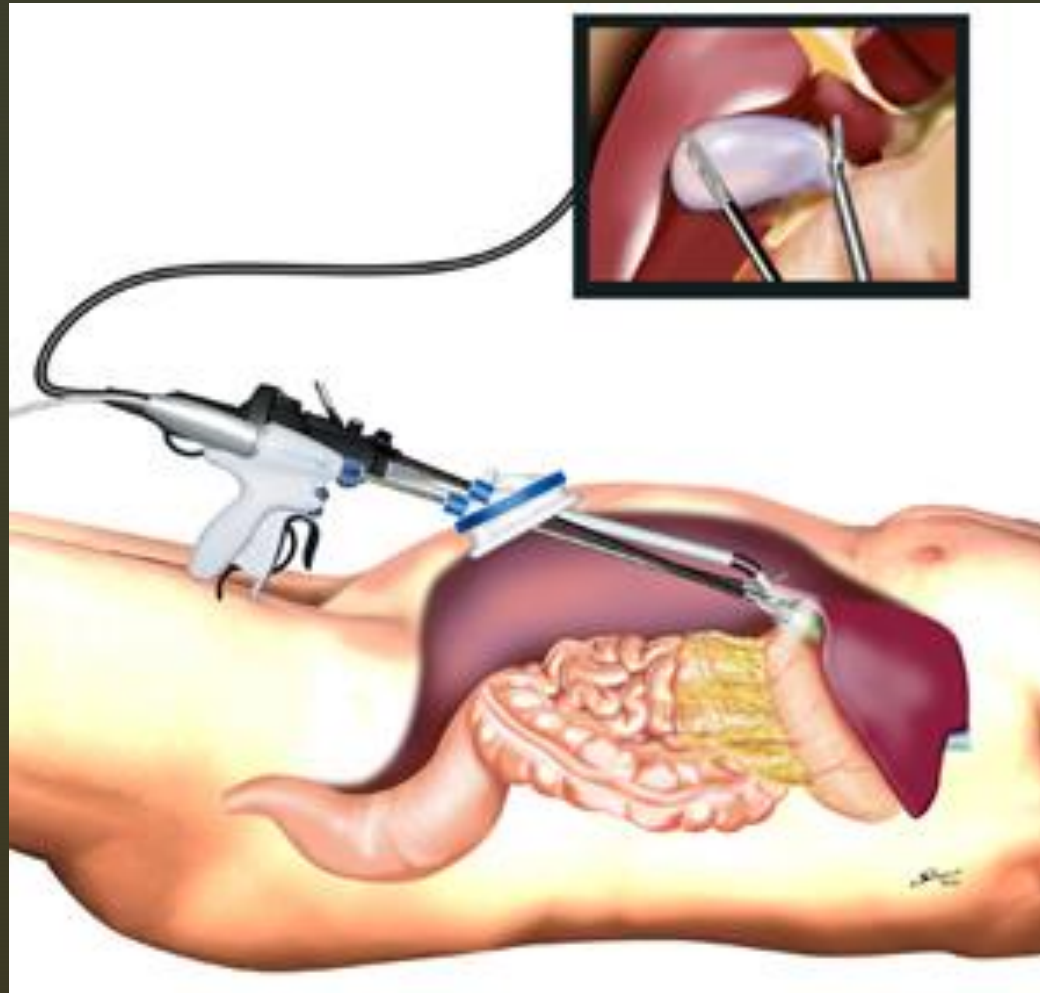
胆汁

1. 胆汁
2. 胆汁
3. 胆汁
4. 胆汁

# 黄疸の治療

- 黄疸の原因として多いのは総胆管結石(胆石症)。次いで胆管がんや膵頭部がん。
- 治療の第一選択で多いのは内科的に胃カメラを十二指腸まで挿入する治療(内視鏡的胆道ドレナージ:ERBD、内視鏡的乳頭切開術:EST)。
- 次いで外科的に経皮的経肝胆道ドレナージ(PTCD)や経皮的経肝胆嚢ドレナージ(PTGBD)。
- それでもダメなら腹腔鏡下胆嚢摘出術。

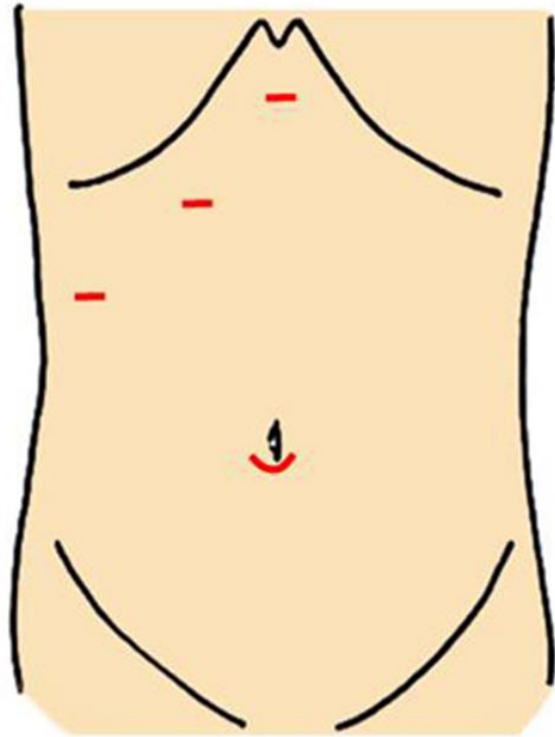
# 黄疸の治療



# 黄疸の治療

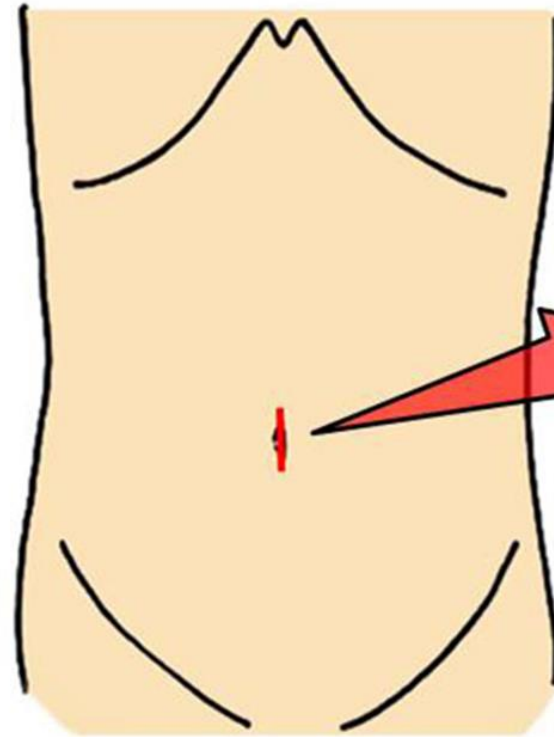


# 黄疸の治療



従来の腹腔鏡下胆のう摘出術の創

臍部に腹腔鏡を挿入する孔の他に  
右上腹部に2-3ヶ所の鉗子用を挿入  
する孔を開け、手術を行ないます。



単孔式腹腔鏡下胆のう摘出術の創

臍を縦に約2cm切開し、1つの創  
から手術を行ないます。



臍の皮膚切開創の皮下  
を拡げ、腹腔鏡を挿入  
する孔を1ヶ所と鉗子用  
の孔を2ヶ所、逆三角  
形の配置で開け、手術  
を行なうのでお腹の創は  
1ヶ所で済みます。術後  
は臍のくぼみに創が隠れ  
るのでほとんど創痕は目  
立ちません。



## 第103回(状況設定)

次の文を読み問題1に答えよ。

Aさん(56歳、女性、主婦)は、胆石症と診断され、腹腔鏡下胆嚢摘出術予定で入院した。Aさんは身長152cm、体重70kgである。Aさんは、数年前に脂質異常症を指摘されたが、治療は受けていない。Aさんにその他の特記すべき既往歴はない。

### 問題1

看護師が手術オリエンテーションを行い、術後の入院期間は5日程度であると説明した。これに対してAさんは「1年前に妹が同じ手術を受けたが、食事はしばらく食べられず3週間以上管が抜けなかった。自分にも妹と同じ合併症が起こるかもしれない」と心配そうに話した。Aさんが心配している、妹に起こった合併症はどれか。

1. 肺炎
2. 胆汁漏
3. 皮下気腫
4. 深部静脈血栓症

# 第103回(状況設定)

次の文を読み問題1に答えよ。

Aさん(56歳、女性、主婦)は、胆石症と診断され、腹腔鏡下胆嚢摘出術予定で入院した。Aさんは身長152cm、体重70kgである。Aさんは、数年前に脂質異常症を指摘されたが、治療は受けていない。Aさんにその他の特記すべき既往歴はない。

## 問題1

看護師が手術オリエンテーションを行い、術後の入院期間は5日程度であると説明した。これに対してAさんは「1年前に妹が同じ手術を受けたが、**食事はしばらく食べられず3週間以上管が抜けなかった**。自分にも妹と同じ合併症が起こるかもしれない」と心配そうに話した。Aさんが心配している、妹に起こった合併症はどれか。

1. 肺炎
2. 胆汁漏
3. 皮下気腫
4. 深部静脈血栓症

# 第103回(状況設定)

次の文を読み問題1に答えよ。

Aさん(56歳、女性、主婦)は、胆石症と診断され、腹腔鏡下胆嚢摘出術予定で入院した。Aさんは身長152cm、体重70kgである。Aさんは、数年前に脂質異常症を指摘されたが、治療は受けていない。Aさんにその他の特記すべき既往歴はない。

## 問題1

看護師が手術オリエンテーションを行い、術後の入院期間は5日程度であると説明した。これに対してAさんは「1年前に妹が同じ手術を受けたが、**食事はしばらく食べられず3週間以上管が抜けなかった**。自分にも妹と同じ合併症が起こるかもしれない」と心配そうに話した。Aさんが心配している、妹に起こった合併症はどれか。

1. 肺炎 ⇒ 抗生剤治療
2. 胆汁漏
3. 皮下気腫
4. 深部静脈血栓症

# 第103回(状況設定)

次の文を読み問題1に答えよ。

Aさん(56歳、女性、主婦)は、胆石症と診断され、腹腔鏡下胆嚢摘出術予定で入院した。Aさんは身長152cm、体重70kgである。Aさんは、数年前に脂質異常症を指摘されたが、治療は受けていない。Aさんにその他の特記すべき既往歴はない。

## 問題1

看護師が手術オリエンテーションを行い、術後の入院期間は5日程度であると説明した。これに対してAさんは「1年前に妹が同じ手術を受けたが、**食事はしばらく食べられず3週間以上管が抜けなかった**。自分にも妹と同じ合併症が起こるかもしれない」と心配そうに話した。Aさんが心配している、妹に起こった合併症はどれか。

1. 肺炎 ⇒ 抗生剤治療
2. 胆汁漏
3. 皮下気腫 ⇒ 吸収を待つ、管入れない
4. 深部静脈血栓症

## 第103回(状況設定)

次の文を読み問題1に答えよ。

Aさん(56歳、女性、主婦)は、胆石症と診断され、腹腔鏡下胆嚢摘出術予定で入院した。Aさんは身長152cm、体重70kgである。Aさんは、数年前に脂質異常症を指摘されたが、治療は受けていない。Aさんにその他の特記すべき既往歴はない。

### 問題1

看護師が手術オリエンテーションを行い、術後の入院期間は5日程度であると説明した。これに対してAさんは「1年前に妹が同じ手術を受けたが、**食事はしばらく食べられず3週間以上管が抜けなかった**。自分にも妹と同じ合併症が起こるかもしれない」と心配そうに話した。Aさんが心配している、妹に起こった合併症はどれか。

1. 肺炎 ⇒ 抗生剤治療
2. 胆汁漏
3. 皮下気腫 ⇒ 吸収を待つ、管入れない
4. 深部静脈血栓症 ⇒ 抗血栓塞栓薬で血栓を溶かす、食事は食べる

# 第103回(状況設定)

次の文を読み問題1に答えよ。

Aさん(56歳、女性、主婦)は、胆石症と診断され、腹腔鏡下胆嚢摘出術予定で入院した。Aさんは身長152cm、体重70kgである。Aさんは、数年前に脂質異常症を指摘されたが、治療は受けていない。Aさんにその他の特記すべき既往歴はない。

## 問題1

看護師が手術オリエンテーションを行い、術後の入院期間は5日程度であると説明した。これに対してAさんは「1年前に妹が同じ手術を受けたが、**食事はしばらく食べられず3週間以上管が抜けなかった**。自分にも妹と同じ合併症が起こるかもしれない」と心配そうに話した。Aさんが心配している、妹に起こった合併症はどれか。

1. 肺炎
2. **胆汁漏 ⇒ 胆汁をドレナージしながら瘻孔の閉鎖を待つ**
3. 皮下気腫
4. 深部静脈血栓症

## 第103回(状況設定)

次の文を読み問題3に答えよ。

Aさん(56歳、女性、主婦)は、胆石症と診断され、腹腔鏡下胆嚢摘出術予定で入院した。Aさんは身長152cm、体重70kgである。Aさんは、数年前に脂質異常症を指摘されたが、治療は受けていない。Aさんにその他の特記すべき既往歴はない。

### 問題3

Aさんの術後の経過は良好で、退院の許可が出た。退院後の日常生活に関する説明で正しいのはどれか。

1. 「低蛋白食を摂取してください」
2. 「退院後1週間、シャワー浴はできません」
3. 「脂肪分の多い食事で下痢をするかもしれません」
4. 「傷口が赤く腫れてきたら、消毒をしてください」

## 第103回(状況設定)

次の文を読み問題3に答えよ。

Aさん(56歳、女性、主婦)は、胆石症と診断され、腹腔鏡下胆嚢摘出術予定で入院した。Aさんは身長152cm、体重70kgである。Aさんは、数年前に脂質異常症を指摘されたが、治療は受けていない。Aさんにその他の特記すべき既往歴はない。

### 問題3

Aさんの術後の経過は良好で、退院の許可が出た。退院後の日常生活に関する説明で正しいのはどれか。

1. 「低蛋白食を摂取してください」
2. 「退院後1週間、シャワー浴はできません」 ⇒ だいたい術後3日でOK
3. 「脂肪分の多い食事の下痢をするかもしれません」
4. 「傷口が赤く腫れてきたら、消毒をしてください」 ⇒ 受診してください！





## 第103回(状況設定)

次の文を読み問題3に答えよ。

Aさん(56歳、女性、主婦)は、胆石症と診断され、腹腔鏡下胆嚢摘出術予定で入院した。Aさんは身長152cm、体重70kgである。Aさんは、数年前に脂質異常症を指摘されたが、治療は受けていない。Aさんにその他の特記すべき既往歴はない。

### 問題3

Aさんの術後の経過は良好で、退院の許可が出た。退院後の日常生活に関する説明で正しいのはどれか。

1. 「低蛋白食を摂取してください」 ⇒ タンパク質関係なし
2. 「退院後1週間、シャワー浴はできません」 ⇒ だいたい術後3日でOK
3. 「脂肪分の多い食事で下痢をするかもしれません」
4. 「傷口が赤く腫れてきたら、消毒をしてください」 ⇒ 受診してください！